

山陽電鉄・板宿駅↓同・須磨浦公園駅

☆☆☆

312m

3時間20分

須磨アルプス

磯の香を感じながら、荒々しい岩場を登る

荒々しい岩場の馬の背など険しいところがありアルプスと呼ばれる名所。板宿八幡宮からスタートし、東山から六甲全山縦走路に入り、須磨海岸や淡路島から明石海峡大橋、神戸市街地などの展望を楽しみながらの歩きができる人気コース。下山する須磨浦公園では磯の香も。



名物の馬の背、ハシゴ場など険しいところもある須磨アルプス (2月)

おすすめシーズン 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

- 展望** 旗振山からの明石海峡大橋、淡路島、神戸市街地、大阪湾の眺望は抜群。おらが山公園、梅尾山展望台からも大展望が開けている。
- 桜** 須磨浦公園は桜の名所。板宿八幡宮にも咲く。
- 梅** 1月下旬に須磨浦山上遊園に寒紅梅、2月上旬から旗振山下の山上遊園西園に600本の梅が咲き誇る。

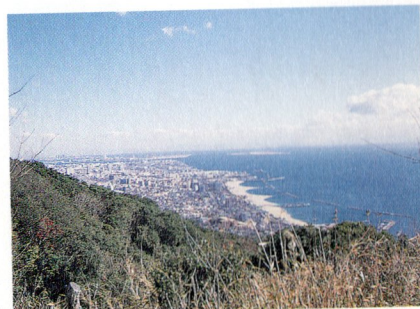
1月からの梅、3月下旬の桜の花がほころぶころ、新緑、紅葉のシーズンがおすすめ。冬季も降雪はあるが、積雪になることはまずない。夏場は暑さが少し厳しい。

- 交通費 梅田駅起点1320円
- 問合せ先 神戸市文化交流部 ☎078-322-5166 山陽電鉄須磨駅 ☎078-731-3143

このコースの魅力

●アクセス・(往路) 梅田駅から阪神本線・山陽電鉄の直通特急か特急で板宿駅まで47分。(復路) 須磨浦公園駅から山陽電鉄の普通で山陽須磨駅まで5分、山陽須磨駅から直通特急か特急で阪神本線の梅田駅まで50分。

板宿駅1から本通商店街を北へ抜け、左の妙法寺川沿いに歩き二つ目の信号の板宿橋を渡り、電柱に掲げられている板宿八幡宮(登山道)への道標を追う。階段道を登り板宿八幡宮2の鳥居をくぐった左が登山口。須磨学園の敷地沿いから横尾山を目指して登る。視界の開けたところで振り返れば、神戸港沖から淡路島が望める。



鉢伏山への道中からは須磨海岸がくっきり

尾根道に出て左へ曲がり、高度を上げると東山3に到着。前面に馬の背などごつごつしたワイルドな右場が見える。

横尾山方面へ下り、馬の背から岩場に行く。「高倉山、鉢伏山」への道標が細かく出ているが、踏み跡も複雑で滑りやすく、スリリングな歩きになる。階段道を登ったところが二等三角点の横尾山4山頂。展望が開けた広場で、休憩ポイント。

ここからは約340段の急なコンクリート階段を下る。左に山すそを歩き、つじ橋を渡って団地内のカラ―舗装道路を進む。商店街を抜け、さつき橋を渡る。今度はコンクリート階段の登りが待ち受ける。階段を登りきったところに高倉山(おらが山) 山頂の石標がある。その先におらが茶屋(土・日曜と祝日営業)、広場やベンチもあるおらが山公園5が広がっており、眺望にも恵まれた大休憩ポイント。



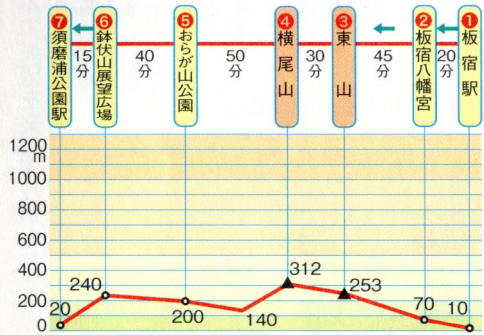
進むと鉢伏山へ登る急階段がある。山頂に小広場はあるものの、それほど展望は開けていない。右から迂回する道もあるので、どちらかを選択。道はすぐに合流し、旗振山へと続く。茶店(季節営業)のあるところが旗振山山頂。目の前に明石海峡大橋が一段と大きく、くっきりと見える。須磨海岸や神戸市街地も間近に望める。

荒々しい山容を見せる須磨アルプス

須磨海岸を眼下にコンクリートの階段道を下る。途中から公園の中に入り道は複雑になるが「須磨浦公園駅7」の道標を追う。下りきって敦盛橋を渡った左に駅がある。



山上遊園西園の梅枝



(参考) 2.5km地形図=須磨、神戸南部

